

乳房画像分科会 アンケート報告

日本赤十字社放射線技師会 乳房画像分科会
○西関剛 川合佳代 武藤美子 尾形智幸

【はじめに】

日本赤十字社放射線技師会の学術部内に乳房画像分科会が設置され、昨年度より活動を開始している。

技師会HPには「日本赤十字放射線技師会は学術分科会活動を通じて赤十字病院全体がマンモグラフィ検診施設画像認定取得へ向けての取り組みを開始します。」と謳われており、その前段の調査として全国赤十字病院における乳房撮影の環境を把握するため、アンケート調査をおこなった。今回はその調査結果を報告する。

【調査方法】

全国の赤十字病院94施設にアンケート方式で調査票を郵送、記入の上郵送にて直接学術担当へ返送。

実施期間：平成20年1月23日～2月15日

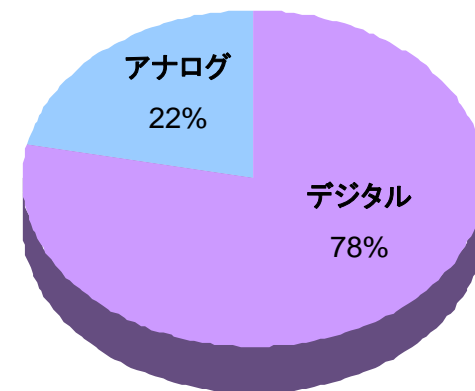
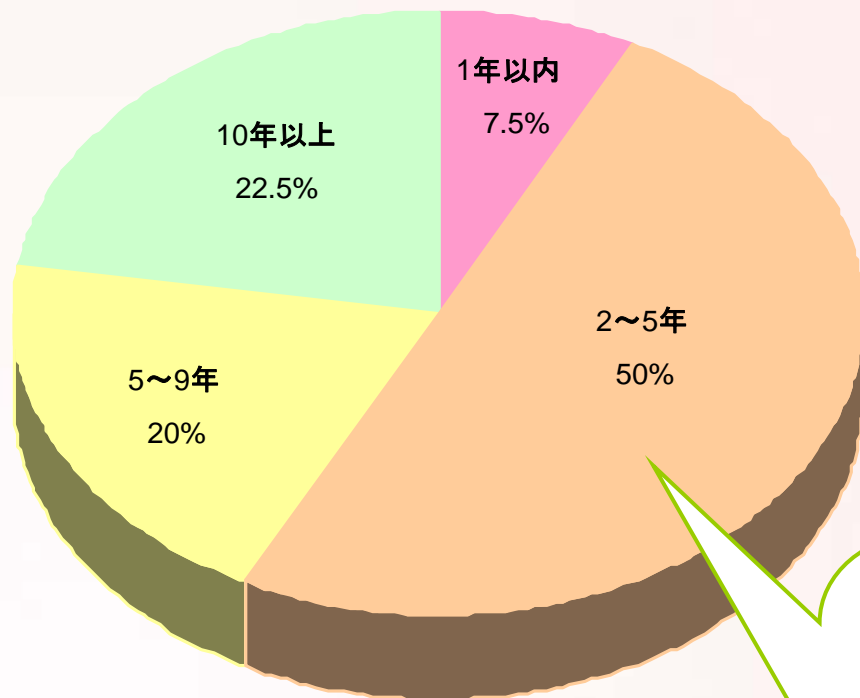
回答数：74施設／94施設（78.7%）

北海道	東北	東部	中部	近畿	中国・四国	九州
10	6	19	21	13	14	11
7	4	17	16	13	12	5
70.0%	66.7%	89.5%	76.2%	100%	85.7%	45.5%

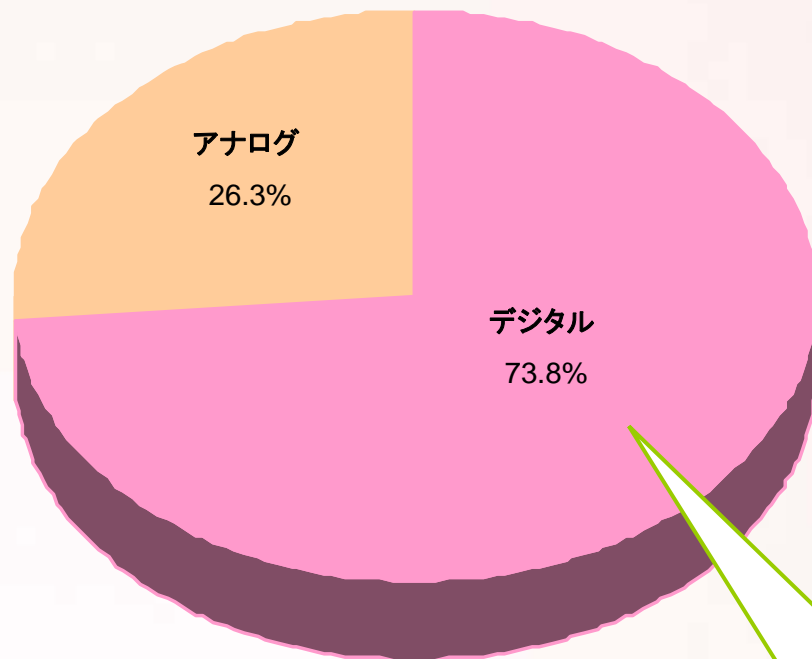
【調査内容】

- 乳房撮影装置：名称、導入時期、アナログorデジタル、システム
- 読影環境：フィルムorモニタ、高輝度シャウカステンの有無
- 撮影環境：年間撮影件数、乳房撮影従事者数、認定技師数等

■ 導入経過年数

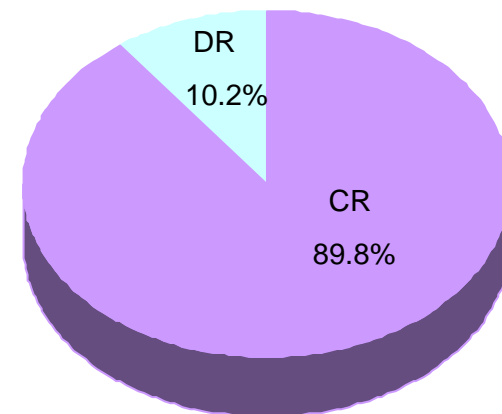


■ アナログ／デジタル比

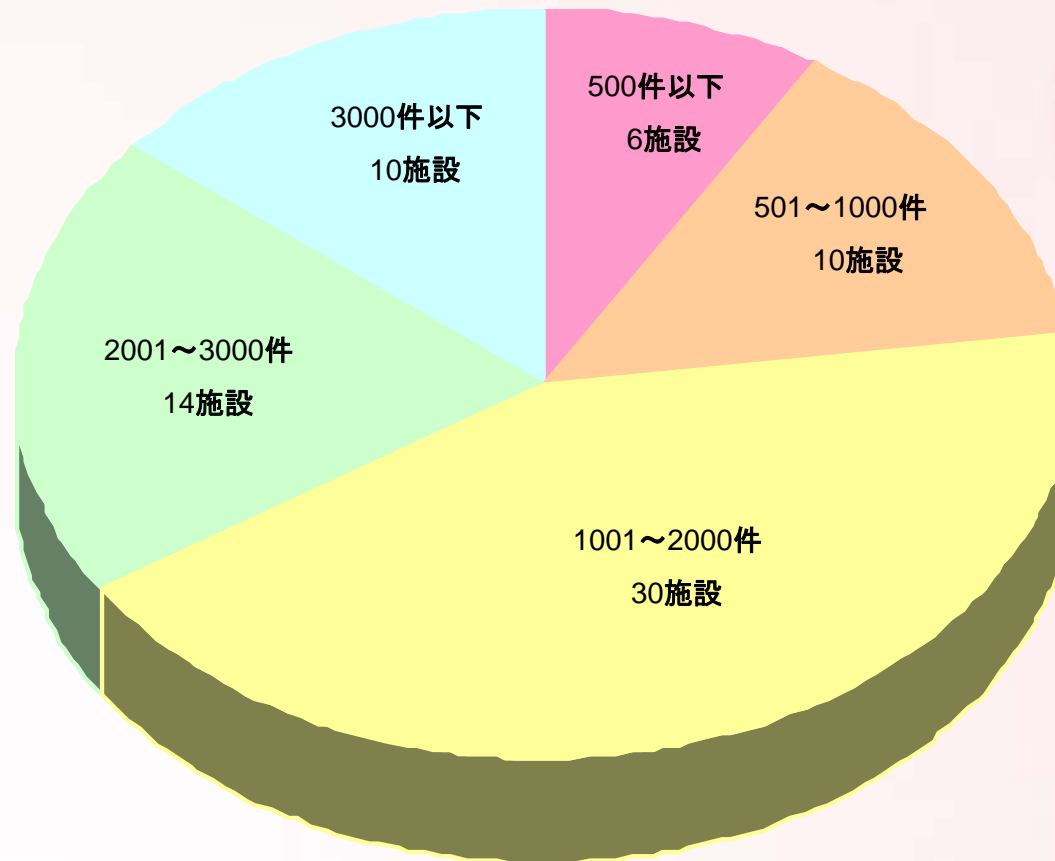


■ モニタ読影 (フィルム出力含む)

12施設／51施設



■ 撮影件数



■ 撮影技師

	認定技師数	従事者数	
男性	85名	135名	63.0%
女性	119名	148名	80.4%
合計	204名	283名	72.1%

■ 認定施設数

31施設／70施設（精中委HPより）

【ご意見】（抜粋）

- モニター診断の読影環境が知りたい。
- 日赤技師会で講習会を開催して欲しい。
- 最近、男性技師が乳房撮影に携わることが ばかられる風潮が生まれているように感じる。
（中略）男性技師の撮影行為への衰退をどのように考えていけば良いのか。
- 年々乳房撮影が増加しているので、技師の増員等を考えなければと思っている。

- デジタルには多くの有用点があると思いますが、画質の点においてはまだ劣っていると考えます。(中略)デジタルの最高条件をこの分科会にて討議していただきたいと思います。
- 「役に立つアンケート」を目指すなら、装置選定の理由や、満足・不満足点、スタッフの問題点などに切り込んでいくと役に立つ調査結果になると思います。Ver.2に期待します。

【まとめ】

乳房撮影の環境はそれぞれの施設でまったく異なるが今回の調査を契機に、乳がん死減少のために分科会活動を通じて施設も技師も乳房撮影に係わるもの全てがレベルアップし、認定取得できるよう学術部と連携して努力していきたい。

最後に、今回のアンケート調査にご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。